

4番（小川義昭君）

それでは、3番目の質問に入ります。

平成21年6月、白山市総合計画及び白山市行財政改革大綱の趣旨を受け、今後の白山市公立幼稚園のあり方について、1教育ニーズなど公立幼稚園のあり方、2公立幼稚園の統廃合、3公立幼稚園の民営化の3点を視点として、有識者など17名による白山市公立幼稚園のあり方検討委員会が設置されました。以後、4回の検討会を経て、平成22年7月に白山市公立幼稚園のあり方について、市長に提言されました。

その提言内容を要約しますと、幼稚園教育に関するアンケート調査で、公立幼稚園の民営化についての設問に対し、「現状のまま」または「どちらともいえない」と回答した割合は、公立幼稚園保護者ではほぼ全員が、私立幼稚園保護者及び1・2歳児保護者では約7割に上がっている。これを受け、公立幼稚園は引き続き存続することとし、公教育を実践するとともに、特別支援教育を推進し、幼稚園教育要領にのっとりた教育実践者として、本市幼稚園教育の中核的役割を果たしていくこととする。ただ、現行の体制で存続した場合、入園者の減少に伴い、集団生活を通じた教育に支障を来すとともに、幼稚園経営の観点では問題があると考えます。したがって、効率的な幼稚園運営を考えると、公立幼稚園の再編整備を行う必要がある。

1 松任東幼稚園と松任西幼稚園は統合し、現西幼稚園敷地で効率的な施設の活用を図る。

2 美川幼稚園は、今後3年間、園児数の状況を観察し、相当数の増加が確認できない場合は、廃止等を検討する。

なお、再編整備は、1については平成25年度をめどに、2については平成26年度までに実施するとの内容でありました。

改めてお伺いします。

市として、あり方検討委員会のこの提言をどのように受けとめていますか。ただ単に白山市公立幼稚園3園の統廃合を論じるのではなく、白山市としての幼稚園教育の目標・理念の確立と、それを確保する公立幼稚園の適正な配置を目的として、市内における今後の公立幼稚園のあり方及びその役割、さらには効率的な行政運営による施策の展開などを検討することが大変重要なことであり、不可欠かと考えます。主客を直して、今後の本市における公立幼稚園のあり方、基本方針を的確に策定し明示すべきだと考えます。教育長のお考えをお聞きいたします。